

きらめく  
まちビト

×  
松前衛



2019年から販売している『笑美銭米』。品質の高さを広く発信すべく、今回モンドセレクションに応募したところ見事金賞を受賞。その中で開発や応募に至った経緯などについてインタビューしてきました。

「もち米日本一＝名寄」 全国に根付かせたい

受賞の感想を

まずもってありがたいお話。私たちも創業100周年にあたる年ですので、この賞をもらえるのも、もち米を作られる農家の皆さんのおかげです。感謝に尽きません。審査員は三星シェフの方なのですが、その中に日本人はいないとのこと、もち米が世界の方々にとって評価されるか不安でしたが、本当に良かったです。

開発のきっかけは

日本一と言えるものは数知れている中で、せっかく名寄がもち米日本一であるのに、それをわかっている方があまりおられないような気がしています。品質は間違いない物ですので、「日本一」の言葉を借りて全国へ売り出すと同時に、名寄がもち米日本一だと全国にアピールしたかったからです。

名前の由来は

「食べると自然とみんなが笑顔になるように」という思いから名付けました。原材料も化学調味料や保存料、香料などを一切使っていないのと、アレルギー物質(卵・乳・小麦)

も加えずに作っていますので、どんな方でも安心して食べられるものだと思います。

モンドセレクションに応募しようと思ったのは

消費者から見てわかりやすいキャッチコピーというか、太鼓判というか。そういうものをこの商品につけたかったので、チャレンジも込めて今回の応募に至りました。モンドセレクションには商品はもちろん、それに関わる資料も全部『英語』で提出することが条件なので、応募の段階でも骨が折れました。

これからの商品開発は

今の時代は「美味しいもの」しか売っていません。美味しいものには、残念ながら体に悪いものもたくさん入っています。とあるお茶の宣伝で『美味しいものは脂肪と糖でできている』というのはまさにです。私たちはできるだけ体にやさしいものを使って、素材自体の味や良さが生きるものを作っていきたいと思っています。また今回、笑美銭米が金賞の評価をいただきましたが、最高金賞が一番上の評価

です。今後はそれを目指して頑張っていけます。

市民の皆さまにひとこと

せっかくこんな美味しいもち米が名寄にあるので、ぜひ皆さん全員で食べてほしいです。その中で、この笑美銭米も召し上がってもらえれば。名寄のお土産としてもご利用してもらい、一緒に名寄もち米日本一を発信しましょう。

Profile

松前衛 (まつまえ まもる)

1921年(大正10年)5月松前衛社長の祖父茂さんが創業し、今年ちょうど100周年の節目の年。主に陶器やお茶などを販売する。『名寄産もち米』の高品質さを市内外に発信すべく、もち米を使ったコーヒーやチョコレートなども開発。地元ブランド化にも大きく貢献される。



きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。